



「一群を照らす人」 古本純一郎主教を偲びて

司祭 デオヌシオ 遠藤 雅己

本年8月30日、ヨハネ古本純一郎主教が逝去されました。古本主教には、個人的にもずいぶんお世話になり、また主教退職後主日礼拝に長く

奉仕されていた神戸聖ペテロ教会に、3年前に私が赴任したにもかかわらず、先生ともしっかりと「親密な」お付き合いが出来たらよかったです。後悔がないかと言うと、大いにあります。ご逝去から日々が過ぎるにしたがって、この思いは大きくなり、じわじわと大切な師を失ったことへの「喪失感」が湧いてきます。

古本先生に最初にお会いしたのは、20年前にフィリピンから神戸国際大学に赴任した週日、当時聖ミカエル国際

学校の隣にあつたお宅に、ご挨拶に行ったおりで、穏やかに対応して下さい、自分も「教員」をしたことがあるが、「教育と言うのは、些細な事を分るように真面目に教えることですね」と言われたのを覚えています。

古本主教が、神学院で生活でも学術でも優秀な神学生で、神学院は教員として先生を残そうとしたと聞いています。しかしこれほど優秀な神学生を、当時の神戸教区は、教区の教育方針と違うと言う理由で聖職候補生としなかつたそうです。先生の在学中のご苦労は、いかほどだったのでしょうか。それでも古本先生は、教区の命に従って神戸昇天教会に赴任したのです。このような苦労話を、先生は「神様に派遣された場所で

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2022年 11月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 瀬山 会治

印刷所
文明堂印刷所

収穫感謝献金 のお願い

奉獻先
松山聖アンデレ教会 10万円
神戸教区自給促進資金 140万円
募金額…150万円
・松山は聖堂雨漏り防止工事50万円の一部補助。

・神戸教区自給促進資金は、これまで収穫感謝献金で各教会からの要望に応じてきましたが献金額が減少し資金が枯渇してきました。今後の申請に応えるため資金を少しでも補填するためにご協力願います。

人々に出来る限り真摯に向き合いなさい」。与えられた場所がどのような場であれ「神の光をそこに照らしましょう」と言うことを教えられたかったのでしょうか。

「一群を照らす者」となりなさい。それが私たちの仕事です。(神戸聖ペテロ教会牧師)